

2024年9月29日  
9月第五主日礼拝式



# 139 わたしのすべてを

1. わたしのすべてを おささげします  
日々 主を愛して おゆだねします

\* 主のために ささげます

わたしのすべてを ささげます

2. わたしのすべてを 主のものとして  
みたまのちからに 満たしてください

\* (くりかえし)

# 「とこしえの道」

(詩篇139:23~24)

神よ わたしをさぐり  
こころを知ってください

わたしの中に 傷つけるところがある  
かないかを見て みちびきたまえ

とこしえの義の道に

新聖歌421番 「ここに主は在(ま)して」

1 ここに主は在(ま)して むかえたまえば  
雲は早(は)や 空を おおいそめたり

\* 答えたまえ 主よ 祈るわれらに

民(たみ)のねむりをば 覚(さ)ます雨もて

2 きよきこのところ み顔 拝(はい)して  
心ゆくばかり ひたれ 恵みに 【\*】

3 ひとつ心もて 祈る祈りに  
今 主は答えを 与えたもうべし 【\*】

4 祈り 待ちのぞめ 誓(ちか)いたがわず  
あまつ御座(みくら)より 雨は降るべし 【\*】

# 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌321番 「浮世(うきよ)の風と」

1 浮世(うきよ)の風と 波にもまれて  
舟(ふな)がかりせる 小舟(こぶね)にとりて  
強き錨(いかり)ぞ ただ頼(たの)みなる

\* 罪の嵐は いかにも吹くとも 岩なるイエスに  
錨(いかり)下ろせば 流さるることなし

2 わが魂(たましい)は 波に呑(の)まれて  
いくたびか死を 覚悟したれど  
錨(いかり)この身を 行(ゆ)かしませざりき 【\*】

新聖歌321番 「浮世(うきよ)の風と」

3 岩かむ錨(いかり) 切れることなし  
そは神よりの 賜物(たまもの)なれば  
思いわずらい などてあるべき 【\*】

\* 罪の嵐は いかにも吹くとも 岩なるイエスに  
錨(いかり)下ろせば 流さるることなし

4 わが嵐にも また悪魔にも  
ふるわれぬもの 内(うち)に持つなり  
浮世(うきよ)の風よ いざ吹かば吹け 【\*】

アーメン

## 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌62番 「天(あま)つみ民も」

天(あま)つ み民も

地にある者も

父 子 御霊(みたま)の神をたたえよ

神をたたえよ

アーメン